

Clinical features of acquired erythrocytosis: low level of serum erythropoietin in a subset of non-neoplastic erythrocytosis patients

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2022-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 森, 洋輔 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002791

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2504 号

Clinical features of acquired erythrocytosis

後天性多血症の臨床像

森 洋輔 (もり ようすけ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は本学関連病院の後天性多血症 121 症例を対象に、病理中央診断と遺伝子変異解析により *JAK2* 変異陽性の真性多血症 (PV) 47 症例と非腫瘍性多血症 (NNE) 67 症例とその他の造血器腫瘍 7 例を正確に診断した上で、*JAK2* 変異陰性 PV の診断に用いるエリスロポエチン (EPO) 値の妥当性と、後天性多血症の臨床像を明らかにした。*JAK2* 変異陰性 PV の存在頻度や PV 診断における EPO 値の妥当性については未だに一致した見解がなかったが、本研究において *JAK2* 変異陰性 PV の存在は指摘できず、また EPO 値は NNE の 40.8% で基準値以下を示したため、EPO 値によって PV と NNE の鑑別診断はできないことを新規に提言した。NNE の臨床的特徴として、ヘモグロビン値以外の血液検査所見が正常な若年男性が多く、二次性多血症を引き起こす可能性のある喫煙や飲酒といった生活習慣因子や疾患を高頻度で有した。また NNE は健常者より高頻度で血栓症の既往を認め、PV と有意差は認めなかった ($P=0.18$)。さらに EPO 低値の NNE では、2 次性多血症が疑われる EPO 高値の NNE に比べて、飲酒の頻度が有意 ($P<0.05$) に高いことを初めて指摘した。このように本研究は比較的大規模な後天性多血症患者の臨床像を解析し、NNE では PV と同程度の血栓症発症リスクがあり、生活習慣の改善や疾患のコントロールが重要であることを示した。また *JAK2* 変異陰性 PV の存在は極めて稀であり、EPO 低値が PV に特異的な所見でなく PV 診断マーカーとして妥当ではないことを初めて明らかにした臨床的に意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。